

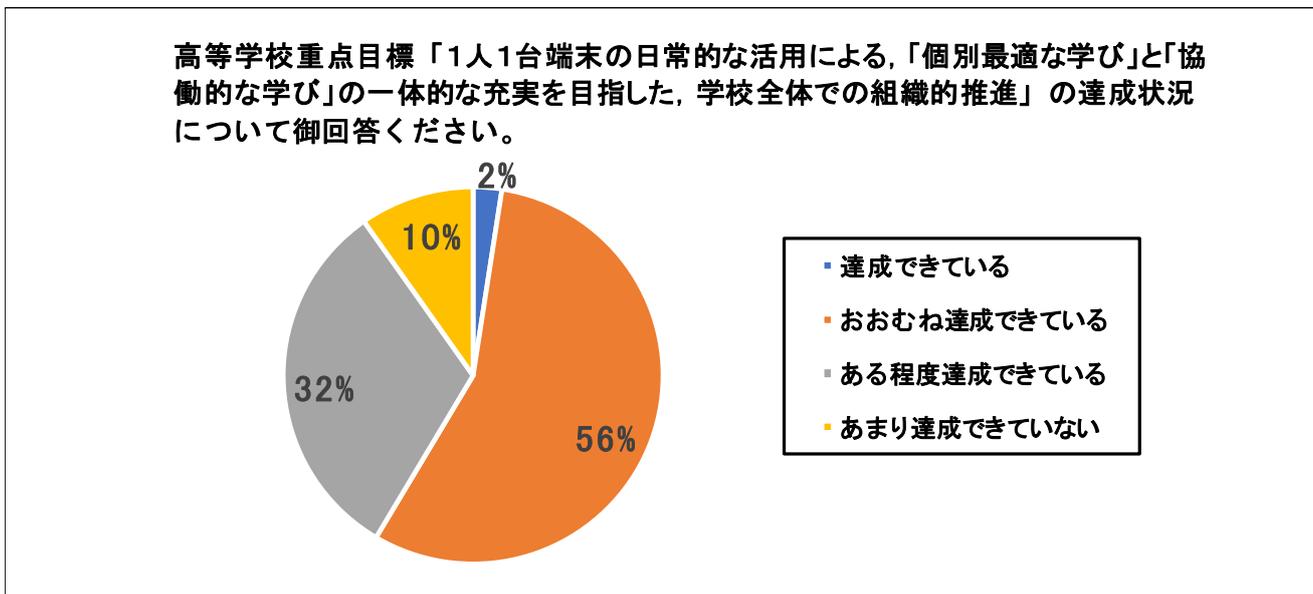
高等学校部会

1 開催状況の概要

- (1) 日 時 令和4年2月17日(木) 午前10時から午前11時30分まで
- (2) 方 法 Web会議システムによるリモート開催
- (3) 出席者 高等学校部会員6名(2名欠席)

2 令和3年度高等学校重点目標の達成状況

- (1) ICTスキル習得に向けた取組状況の調査結果(高等学校)
(3/1時点 有効回答数41/41)



「達成できている」(2%)
「おおむね達成できている」(56%)
「ある程度達成できている」(32%)
「あまり達成できていない」(10%)

達成率 58%

高等学校では、「学校全体での組織的推進」がある程度なされている。

・様々な問題はあるが、学校全体としては組織的に推進されているという手応えを感じている学校が6割ほどある。残りの4割の推進方法が課題である。

(2) 重点目標達成に向けて工夫したことや効果があった取組

ア 校内研修の充実

- ・GIGAスクールサポート事業の利用
- ・校内研修会の実施後、スキルの高い教員主導で再研修を実施
- ・外部講師(GIGAスクールサポーター等)を招いた研修
- ・職員会や自由参加の研修など日常的に情報共有できるようにしている。

イ 教員全体で関わる取組

- ・ClassiやFormsを使った生徒アンケートの実施
- ・教科主任主導で、教科の小テストをクラウドサービスで実施
- ・保護者説明会・公開授業等をZoomで配信
- ・相互授業参観で端末の活用法を研究
- ・ICTが苦手な教員に対する校内のサポート体制の充実

(3) 重点目標達成に向けて苦勞したことや改善点

ア 教員の課題

- ・情報担当者など特定の教員の負担増
- ・ICT機器操作のスキル不足
- ・教員の意識改革（必要性の理解・温度差の解消）

イ 生徒の課題

- ・情報モラル教育の推進やルールづくり
- ・端末操作のスキル不足
- ・端末自体の取扱い

ウ 環境整備での課題

- ・Wi-Fi環境に課題
- ・端末不具合時の対応
- ・アプリケーションの充実

3 令和3年度端末活用状況について（教員の授業における活用頻度調査結果）

教科	第1回	第2回	前回との差
①普通教科「国語」	41%	61%	+20%
②普通教科「地歴」	51%	63%	+12%
③普通教科「公民」	44%	61%	+17%
④普通教科「数学」	56%	61%	+5%
⑤普通教科「理科」	44%	68%	+24%
⑥普通教科「保健体育」	32%	59%	+27%
⑦普通教科「芸術」	24%	32%	+7%
⑧普通教科「外国語」	59%	71%	+12%
⑨普通教科「家庭」	44%	59%	+15%
⑩普通教科「情報」	63%	71%	+7%
①専門教科「農業」	14%	38%	+23%
②専門教科「工業」	67%	33%	-33%
③専門教科「商業」	50%	54%	+4%
④専門教科「水産」	50%	50%	0%
⑤専門教科「家庭」	30%	45%	+15%
⑥専門教科「看護」	67%	100%	+33%

⑦専門教科「情報」	29%	75%	+46%
⑧専門教科「福祉」	43%	50%	+7%
⑨専門教科「理数」	33%	25%	-8%
⑩専門教科「体育」	40%	29%	-11%
⑪専門教科「音楽」	0%	40%	+40%
⑫専門教科「美術」	25%	60%	+35%
⑬専門教科「英語」	0%	100%	+100%
「特別活動」	37%	56%	+20%
「その他」	51%	71%	+20%

- ・普通教科に関しては全ての教科で活用頻度が上がっている。
- ・活用頻度が上がっている教科での活用方法の事例を、校内で他の教科に情報共有できるしくみを考える必要がある。

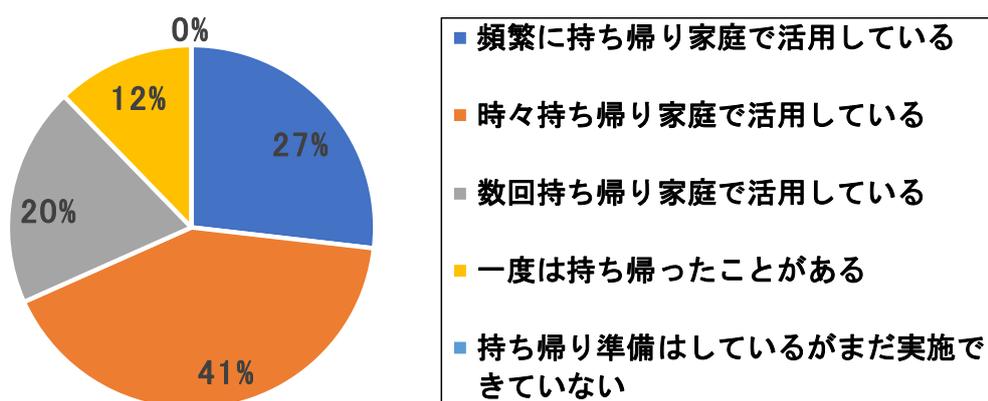
4 生徒のICTスキルの習得状況について

	第1回	第2回	前回との差
①アプリケーション操作	22%	24%	+2%
②カメラ機能活用	10%	17%	+7%
③文字入力	15%	27%	+12%
④分類整理・まとめる力	10%	12%	+2%
⑤プレゼンテーション力	24%	34%	+10%
⑥情報収集力	24%	37%	+12%
⑦コミュニケーション力	20%	27%	+7%
⑧情報社会の倫理	12%	15%	+2%
⑨情報に関する権利	20%	24%	+5%
⑩危険回避	17%	20%	+2%
⑪情報の取り扱い	15%	22%	+7%
⑫健康面への配慮	20%	22%	+2%
⑬情報セキュリティ	15%	12%	-2%

- ・ほぼ全ての項目で達成割合が上昇している。
- ・スマートフォンの普及によりキーボード入力スキルは高くなかったが、1人1台端末を活用することにより、スキルが向上している。
- ・プレゼンテーション力、情報収集力において大きく向上している。総合的な探究の時間での研究活動等で効果的に活用していることが窺える。
- ・他校種に比べると達成率が低いが、高等学校の達成目標（ステップ5）が高いレベルを設定しているためであると考えられる。

5 端末の持ち帰り状況について

端末の持ち帰り状況について御回答ください。



「頻繁に持ち帰り家庭で活用している」(26%)
「時々持ち帰り家庭で活用している」(41%)
「数回持ち帰り家庭で活用している」(20%)
「一度は持ち帰ったことがある」(12%)
「持ち帰り準備はしているがまだ実施できていない」(0%)

} 家庭で有効に活用できている

- ・持ち帰っての活用は進んでいると言える。コロナ禍において、端末を持ち帰ることで学びを途切れさせることなく、学習を継続できたのは大きな成果である。
- ・持ち帰りの頻度が高まるのに比例して、端末の破損、不具合等が増えている。今後はクラウドサービスをうまく使い、家庭学習にも取り入れる工夫をするべきである。

6 令和4年度高等学校部会の推進目標

タブレットの日常的な活用による「効果的な学び」を目指した、学校全体での組織的推進